

Title	第十五卷前半総目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1921
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.15, No.6 (1921. 6)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19210601-0154

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田學會雜誌 第十五卷 前半 總目次

論 說

堀江歸一	號一	一丁	通丁
高橋誠一郎	一	三	三
小泉信三	一	三	三
板倉卓造	一	三	三
瀧本誠一	二	一	一
三邊金藏	二	一	一
氣賀勘重	三	一	一
高橋誠一郎	三	一	一
堀江歸一	三	一	一
Economic Rent and The Marginal Expenses of Production. D. H. Buchanan.	四	二	四〇一

プラトーンの國家觀と之れに對するアリストオテリウズの批評	高橋誠一郎	四六五	四九一
恐嚇政治とロヘンシュピエル	占部百太郎	四	六
歴史と歴史家	瀧本誠一	四	六
對外放資と伸縮性	堀江歸一	五	六
大陸封鎖令	阿部秀助	五	六
鐵道經費に於ける恒常費の優越	増井幸雄	五	六
Professor Alfred Marshall on The Relation between Economic Rent and the Marginal Expenses of Production	D. H. Buchanan	五	六
最近數年間に於ける銀價の動搖	堀江歸一	六	七

雜 錄

現代中國學者間に於ける井田論の研究	李 永霖	二	八
親族關係と社會組織	野村兼太郎	二	九
アーサー・ペンテイの歴史觀	加田哲二	三	六

ギルドの起原に就いて	園 乾	一	三
生存權と自殺權	高橋誠一郎	一	三
希臘領域内に於ける金銀の増加	高橋誠一郎	二	九
丹後の飛脚に就いて	紀 清市	三	三
ギイディングスの歴史學說	野村兼太郎	三	九
石城志考	阿部秀助	四	九
佛國鐵道の近狀	増井幸雄	四	九
ロレンツォ・トンチとその時代	園 乾	四	九
中世の紀年法大意	間崎万里	四	九
八十年代の英國社會主義	加田哲二	五	九
國家機能の二分岐	奥井復太郎	五	九
リカルドオ略傳附年譜	小泉信三	六	九
ウイザールの社會主義評論梗概	三邊金藏	六	九
保險數學の發達	園 乾	六	九
クラーク教授の資本の機能に就て	金原賢之助	六	九

新刊紹介

M. Beer: A History of British Socialism. Vol. I.	野村兼太郎	一四七
M. Beer: A History of British Socialism. Vol. II.	加田哲二	一四七
小島昌太郎著「海運經濟論」第一卷	增井幸雄	一五二
中川正左著「鐵道論」	增井幸雄	一五二
ホッヂキス氏の炭坑國有論	堀江歸一	一四四
福田徳三著「現代の商業及商人」	高橋誠一郎	一四四
瀧本誠一著「日本經濟史」	野村兼太郎	一四四
福田徳三著「暗雲録」	高橋誠一郎	一四四
慶應義塾大學「社會問題講演」	堀江歸一	一四四
勞働市場論	堀江歸一	一四四
G. D. H. Cole: Guild Socialism Restated.	加田哲二	一四四
池田龍藏著「株式市價論」	園 乾 治	一四四
三浦周行著「國史上の社會問題」	野村兼太郎	一四四
堀江歸一著「社會經濟研究」	小泉 信 三	一四四
五來欣造著「社會革命的將來」	田中萃一郎	一四四
堀江歸一著「増補改訂勞働問題の現在及び將來」	高橋誠一郎	一四四

和辻哲郎著「日本古代文化」	野村兼太郎	一六〇
荒川憲譯「社會主義審判」	高橋誠一郎	一六〇
森戸辰男譯「近世社會主義思想史」	小泉 信 三	一六〇
加田哲二著「經濟價值論」	阿部 秀 助	一六〇
リカアド原著、堀經夫譯「經濟原論」	加田 哲 二	一六〇
Dr. Kurt Giese: Das Seefachtarifwesen.	增井 幸 雄	一六〇
アスクウ ^非 ス卿の「産業上の諸問題と爭議」	堀江 歸 一	一六〇
上田貞治郎著「改訂増補株式會社經濟論」	園 乾 治	一六〇

雜 報

S. J. Chapman 教授の返書	四	一六三	五九二
現財學會々報	六	一五二	九二二